

アメリカ教育学会 第24回大会プログラム

会期：2012年10月13日(土)

会場：九州大学箱崎キャンパス文系地区

The 24th Annual Conference of Japan Association of American Educational Studies



アメリカ教育学会 第24回大会準備委員会

Tel&Fax：092-642-3120 (研究室直通)

Tel&Fax：092-642-3121 (合同研究室)

E-Mail：jaaes24kyudai@gmail.com

緊急時連絡先 080-5718-3149 (八尾坂 修)

アメリカ高等教育の展開と特色

スタンフォード21世紀を創る大学

ホーン川嶋瑠子著

A5・並製・三四四頁・二六二五円

世界をリードしつづける研究大学の全てを、同大学出身の著者が学長はじめ多くのインタビュを交え、最新資料により活写。米大学の特色を浮彫りにし留学ガイドとしても最強。

大学教育とジェンダー

—ジェンダーはアメリカの大学をどう変革したか
ホーン川嶋瑠子著

A5・上製・三三六頁・三七八〇円

アメリカの研究大学・大学院

—大学と社会の社会学的研究

矢澤修次郎・伊藤毅編著

A5・上製・二四四頁・二六二五円

現代アメリカのコミュニティ・カレッジ

—その実像と変革の軌跡

宇佐美忠雄著

四六・上製・二四〇頁・二五〇〇円

アメリカの大学基準成立史研究

—「アクレディテーション」の原点と展開

前田早苗著

A5・上製・二四〇頁・三九九〇円

大学経営養成と学生支援政策

アメリカ大学管理運営職の養成

高野篤子著

A5・上製・二六四頁・三三六〇円

わが国における大学職員問題の焦点化と関連して、俄然注目を集めるアメリカの大学職員養成の実態と特徴、とりわけ管理運営職としての職員養成に、最新資料を網羅した本格的な研究。

【新版】大学事務職員のための 高等教育システム論

—より良い大学経営専門職となるために

山本眞一著

四六・並製・一七六頁・一八九〇円

アメリカ連邦政府による大学生経済支援政策

犬塚典子著

A5・上製・二七二頁・三九九〇円

教育機会均等への挑戦(近刊)

—授業料と奨学金の8力国比較
小林雅之編著

A5・上製

カリキュラム・学力・改革—「スタンダード」をめぐるって

アメリカ多文化的歴史カリキュラム における

桐谷正信著

A5・上製・二八八頁・三七八〇円

社会における文化的多様性の実態化とその反面で激化する国家的統合の要求—この対立を克服する教育のあり方を、一九八〇〜九〇年代の歴史カリキュラム改革を手がかりに追求。考察。

現代アメリカにおける学力形成論の展開

—スタンダードに基づくカリキュラムの設計
石井英真著

A5・上製・三九二頁・四四一〇円

現代アメリカの教育アセスメント行政の展開

—マサチューセッツ州(MCAS)テストを中心に
北野秋男編著

A5・上製・四〇〇頁・五〇四〇円

アメリカの現代教育改革

—スタンダードとアカウンタビリティの光と影

松尾知明著

A5・上製・三六〇頁・二八三五円

アメリカ教育の多面的展開

アメリカ公民教育におけるサービス・ラーニング

唐木清志著

A5・上製・三八四頁・四八三〇円

アメリカ伝統の教育としての社会貢献活動を、単に体験にとどめず、その後の自己省察を通じて学習体験をより豊かなものに高める教育方法「サービス・ラーニング」を詳細に紹介・考察。

アメリカの才能教育

松村暢隆著

四六・上製・二四〇頁・二六二五円

アメリカのバイリンガル教育

—新しい社会の構築をめざして
末藤美津子著

A5・上製・二四〇頁・三三六〇円

アメリカの教育支援ネットワーク

—ベトナム系ニューカマーと学校・NPO・ボランティア
野津隆志著

四六・上製・二〇八頁・二五二〇円

現代アメリカ教育ハンドブック

アメリカ教育学会編

B5・並製・二六六頁・二九四〇円

全世界に影響を及ぼしつつある現代米教育につき、約一二〇の重要項目を通じて学会の総力を挙げその全貌を俯瞰・考察。

進歩主義教育—その再考・再構築と批判

社会性概念の構築

田中智志著

A5・上製・四二四頁・三九九〇円

極端な能力・業績志向に傾斜した今日の教育転換の起爆剤として、進歩主義教育が抱く協同的倫理的な社会性概念を再考。

人格形成概念の誕生

—近代アメリカの教育概念史
田中智志著

A5・上製・三二五頁・二七八〇円

アメリカ進歩主義教授理論の形成過程

—教育における個性尊重は何を意味してきたか
宮本健市郎著

A5・上製・四一六頁・七三三〇円

教育による社会的正義の実現

—アメリカの挑戦(一九四五〜一九八〇)
D・ラヴィッツ著

A5・上製・五四四頁・五八八〇円

理想と実態、量的拡大と学力等、改革が孕む矛盾を抽出しつつ、戦後米教育の35年を活写。進歩主義教育への冷徹な批判の書。

学校改革抗争の100年

—20世紀アメリカ教育史
D・ラヴィッツ著

A5・上製・六六四頁・六七二〇円

グローバル化の中の新たな教育展開

教育における国家原理と市場原理

—チリ現代教育政策史に関する研究

齊藤泰雄著

A5・上製・二六〇頁・三九九〇円

世界に先駆けて新自由主義的教育改革を実施。様々な相克を孕みつつ今日に至る、現代チリ教育のダイナミズムを活写。

中央アジアの教育とグローバリズム

嶺井明子・川野辺敏編著

A5・上製・二六四頁・三三六〇円

旧ソ連から独立後ナショナリズムとグローバリズムの交錯の中苦闘を続ける、中央アジア諸国の教育を総合的に紹介・考察。

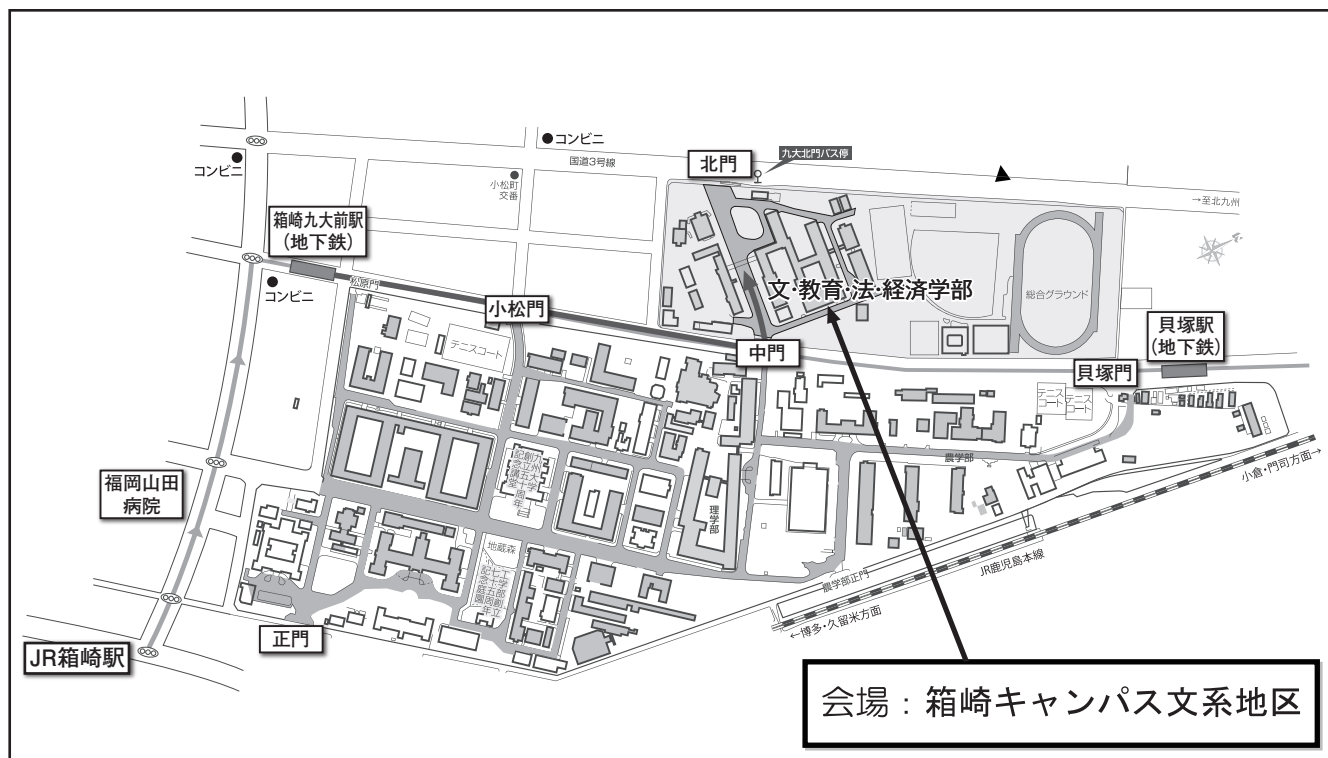
比較教育学事典

—日本比較教育学会編
全一〇三六項目

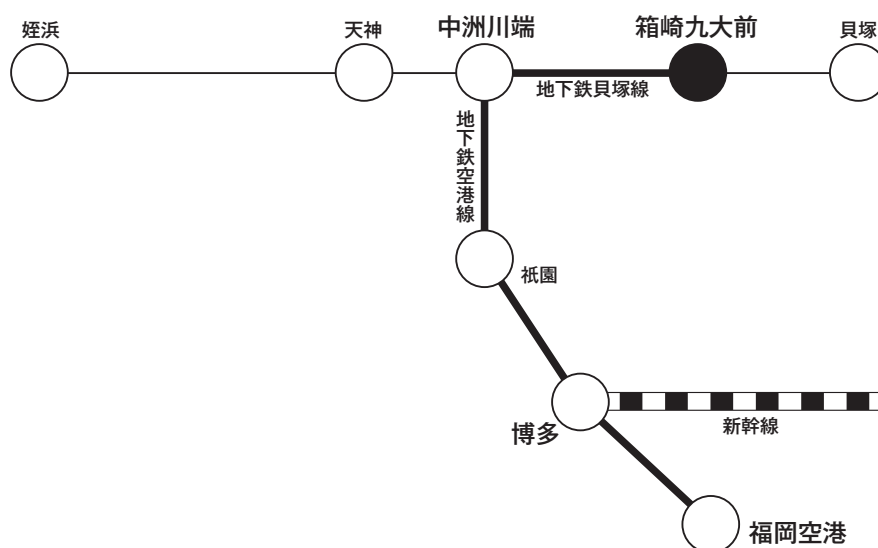
B5・2段組・上製・四五六頁・二二六〇〇円

一教育分野の情報源を超えグローバルな知見を広範に収録。今あらゆる面で危機に瀕しているわが国において、「比較」の思考刷新、さらに教育の社会牽引力再生のため必須のツール。

●● 交通のご案内 ●●



● 会場へのアクセスマップ



☆地下鉄ご利用の場合（地下鉄箱崎九大前から徒歩10分）

福岡空港→箱崎九大前：約23分（290円）

博多→箱崎九大前：約15分（250円）

※福岡空港、JR博多駅からは「天神・姪浜・唐津方面」に乗車して、中洲川端駅で「貝塚行き」に乗り換えてください。

☆西鉄バスご利用の場合（「九大北門」行きであるか確認してください）

博多駅交通センター1F 29番→「九大北門」下車：約25分（220円）

☆JR箱崎駅をご利用の場合、徒歩で約20分かかります。

●●大会日程●●

時 間	備 考
8:50～	大会受付（共通講義棟入口）
9:20～12:00	自由研究発表Ⅰ（102教室） 自由研究発表Ⅱ（103教室） 自由研究発表Ⅲ（104教室） 自由研究発表Ⅳ（203教室） 自由研究発表Ⅴ（204教室）
12:00～13:00	昼食休憩（シンポジウム関係者の打ち合わせ - 106教室）
13:10～13:50	総会（102教室）
14:00～16:45	公開シンポジウム（102教室）
17:00～18:30	研究交流会（大学内生協）

●●大会参加要領●●

1. 受付

10月13日（土）8:50から共通講義棟1階（入口）渡り廊下にて行います。

2. 学会費

会員で会費未納の方は、年会費（正会員 5,000円、学生会員4,000円）を納めてください。
その場で入会ご希望の方は、入会金（1,000円）を添えて申し込んでください。

3. 大会参加費（『発表要旨集録』代を含む）

正会員：3,000円、臨時会員：3,000円、学生会員：無料

※会員以外の参加者（学生以外）は、資料代として500円いただきます。

○研究交流会費：4,000円

※会員相互の親睦を深めるため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

※当日の参加受付も可能ですが、**事前メール受付**にて連絡いただけると幸甚です。

4. 昼食

お弁当の購入（500円）をご希望の方は、**事前メール受付**にてお申し込みください。

当日の販売は数に限りがあります。なお、大学周辺部に飲食店もございますが、やや距離が離れておりますのでご了承ください。

5. 事前メール受付のお願い（参加の方のみ）

大会参加の予定（お名前・大会参加・お弁当・研究交流会）をメールにてお知らせください。

E-Mail : jaaes24kyudai@gmail.com

※経費節約のため返信用葉書は同封していません。

メール通信不可能の場合は、FAX[092-642-3120]にて大会準備事務局までお送りください。〔書式自由〕

※メール連絡締め切り：9月13日（木）を目処になるべく早めにお送りください。

- * 頂いたメールには返信しません。失礼ながらご了承ください。
- * 現時点では予定不確定でも参加をご検討中の場合は、参加としてご連絡ください。
- * メールご連絡後に予定が変わっても、訂正のご連絡は不要です。
- * 自由研究発表者、シンポジストの方々も、交流会参加・不参加についてご連絡ください。
- * 理事の方々も、理事会ご連絡とは別に、大会ご参加の場合はこちらのご連絡もください。

6. 理事会の開催

前日の10月12日（金）16：00～18：00に、福岡ガーデンパレス（天神）で開催します。理事の皆さまには別途、学会事務局よりご案内します。

* キャンパス内は禁煙です。喫煙は指定された喫煙場所をお願いします。

●● 自由研究発表要領 ●●

■発表時間

- 個人研究発表 発表20分・質疑5分（計25分）
- 共同研究発表 発表40分・質疑10分（計50分）

■各会場とも、個別の発表・質疑の終了後に、全体討議の時間を設けます。

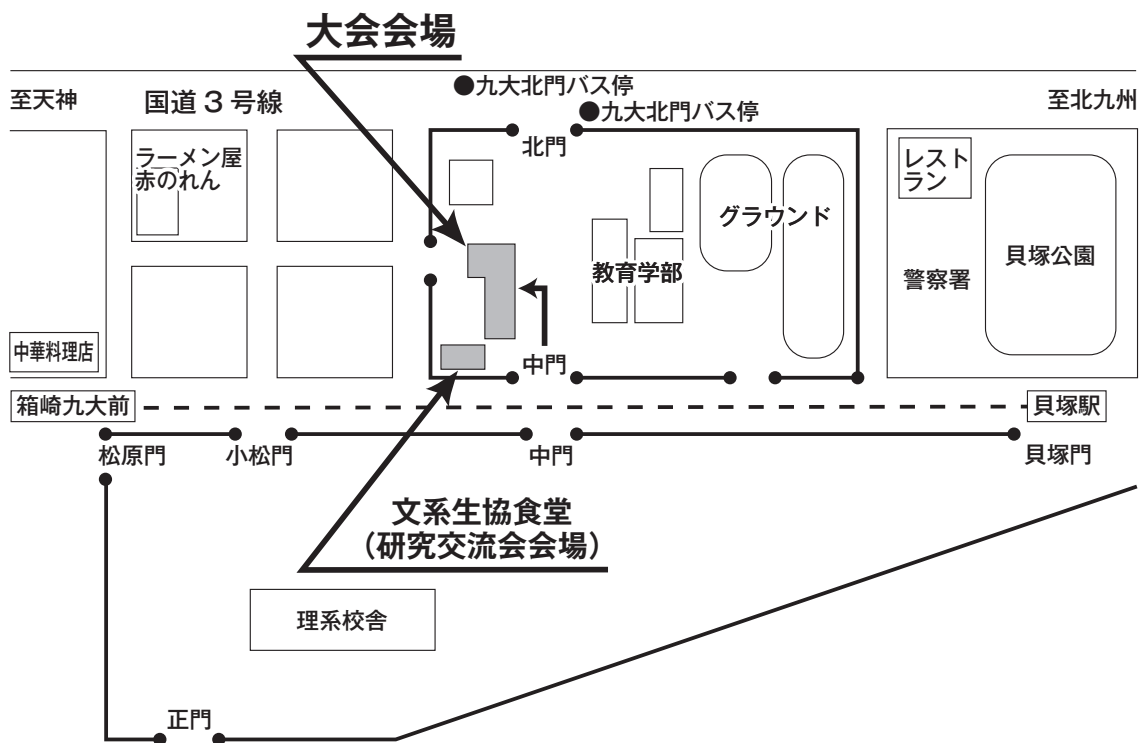
■発表に必要な資料は、各自30部ご用意いただき、大会当日ご持参ください。会場ではコピーできませんので、ご了承ください。

■会場には、プロジェクターならびにWindows XPの発表者用PCを用意します。発表者用PCでは、PowerPoint 2007形式（.pptx）ならびにPDFファイルを投影できるようにする予定です。
Macなどその他の機器をご使用の場合は、必要な機材をご持参ください。映像入力端子は、ミニD-Sub15ピンです。

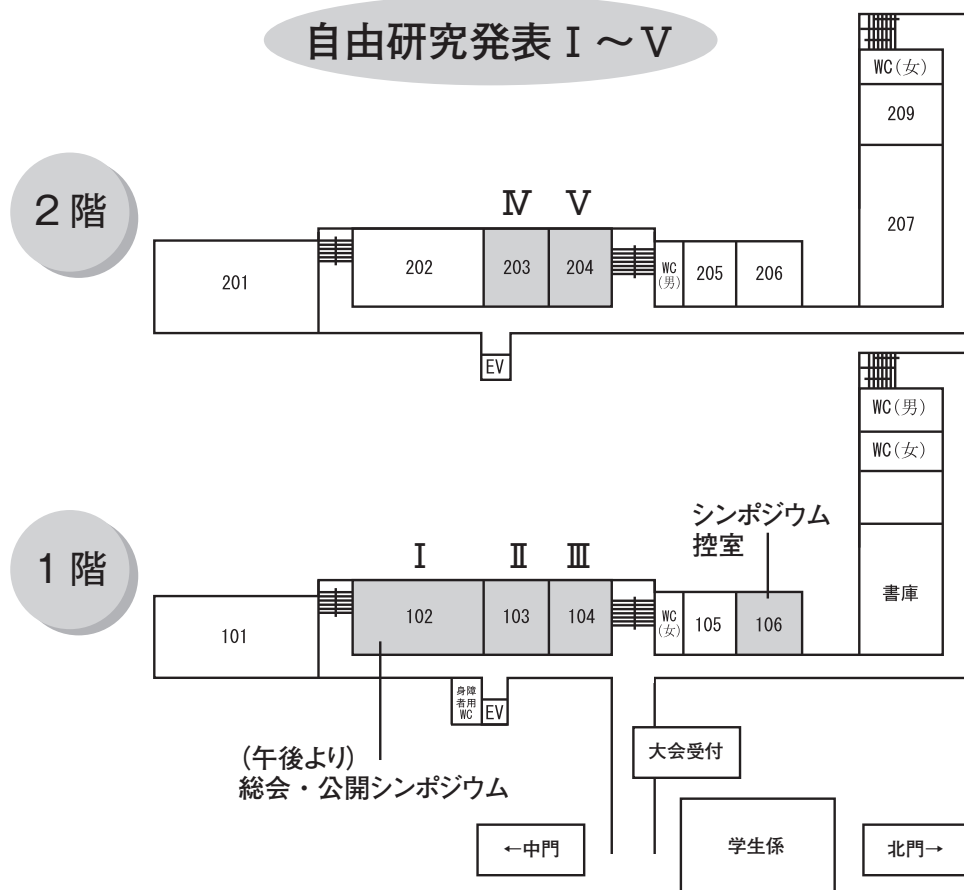
■会場には学外者が利用できるインターネット設備はありません。ご了承ください。

■発表者がやむを得ない事情により欠席する場合には、発表時間・発表順序の繰り上げは行わず、司会者の判断により、休憩または討議の時間にあてます。

●● 大会会場建物配置図 ●●



●● 共通講義棟・教室配置図 ●●



自由研究発表Ⅰ ＜行政・政策・チャータースクール＞

【司会】 赤星 晋作 （広島市立大学）
千々布 敏弥（国立教育政策研究所）

・ 9：20～9：25 開会

・ 9：25～9：50

新自由主義教育改革における教師の協働の可能性と課題

ーアメリカにおけるプロフェッショナル・ラーニング・コミュニティの考察から

新谷 龍太郎（南大阪看護専門学校）

・ 9：50～10：15

米国教員組合の生徒指導への取り組み

野倉 正人（愛知県立一宮南高等学校）

・ 10：15～10：40

学区(school district)の意味と課題

ー2つのチャータースクールの設置形態に着目してー

佐々木 司（山口大学）

・ 10：40～11：05

チャータースクールをめぐる学校選択の構造 ー自律化のパラドクスー

寶來 敬章（高田短期大学）

・ 11：05～11：30

アメリカ学校保健施策の今日的展開 ー学校拠点型保健センター(SBHC)の分析からー

帖佐 尚人（早稲田大学）

・ 11：30～12：00 総括

自由研究発表Ⅱ <カリキュラム・多文化・学校教育>

【司会】 倉本 哲男（佐賀大学）
矢野 裕俊（武庫川女子大学）

・ 9：20～9：25 開会

・ 9：25～9：50

メリーランド州のコモン・コア・ステイト・カリキュラム
ーカリキュラム統合の特徴を中心にー

佐藤 有（北海道教育大学）

・ 9：50～10：15

アメリカにおける教育言語政策と学校のアカウンタビリティ
ーアリゾナ州での実施状況を中心にー

島田 和幸（四天王寺大学）

・ 10：15～10：40

イリノイ州における幼稚園数学教育の標準化

太田 節子（東京福祉大学）

・ 10：40～11：05

アメリカの小学校における才能児への教育
ーケンタッキー州マーシャル郡のGTキャンプの取り組みー

中村 順子（富山県立ふるさと支援学校）

・ 11：05～11：35 総括

自由研究発表Ⅲ <生徒指導>

【司会】片山 紀子（国士舘大学）
藤平 敦（国立教育政策研究所）

・ 9：20～9：25 開会

・ 9：25～9：50

品格教育(Character Education)の視察報告

青木 多寿子（広島大学）

・ 9：50～10：15

アメリカにおけるいじめ問題対策の考察

宮本 浩紀（早稲田大学大学院・院生）

・ 10：15～10：40

米国カリフォルニア州の非行予防に関する機関連携
ー少年矯正制度に焦点を当ててー

宮古 紀宏（早稲田大学）

・ 10：40～11：05

インターネットの普及とホームスクーリングの変容

西村 史子（共立女子大学）

・ 11：05～11：35 総括

自由研究発表Ⅳ <高等教育>

【司会】 相原 総一郎（大阪薫英女子短期大学）
天野 智水（琉球大学）

・ 9：20～9：25 開会

・ 9：25～9：50

現代アメリカにおける学生ローンと高等教育

鵜浦 裕（文京学院大学）

・ 9：50～10：15

IBプログラムとアメリカAPプログラムの比較

—中国の高級中学に焦点を当てて—

小野寺 香（東北大学大学院・日本学術振興会特別研究員）

・ 10：15～10：40

アメリカの大学に対するアジア教授の認識に関する一考察

小川 佳万（東北大学）

・ 10：40～11：05

大学と博物館の連携に関する一考察 —生涯学習の視点から—

梶原 健二（九州大学大学院・院生）

・ 11：05～11：30

大学におけるケースメソッドの開発と普及

—全米理科ケースメソッドセンター（NCCSTS）に焦点化して—

安藤 輝次（関西大学）

・ 11：30～12：00 総括

自由研究発表Ⅴ <教育思想>

【司会】 松下 晴彦（名古屋大学）
澤田 稔（上智大学）

・ 9：20～9：25 開会

・ 9：25～9：50

アリス・バロウズの学校建築思想

宮本 健市郎（関西学院大学）

・ 9：50～10：15

ジョン・デューイ（John Dewey）の教師教育構想

中野 真志（愛知教育大学）

・ 10：15～10：40

生－権力からみた教育課題としての子どもの救済 ―合衆国を事例に―

大倉 健太郎（大阪女子短期大学）

・ 10：40～11：05

アメリカにおけるナラティブ・スタディの現在

浅沼 茂（東京学芸大学）

・ 11：05～11：35 総括

公開シンポジウム

「アメリカにおける教員養成・免許政策 —日本の教員改革への示唆—」

平成24年7月25日に日本では中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会から審議の最終まとめが提出された（中教審答申8月予定）。そこでは、教職生活全体を通じた一体的な改革、学び続ける教員を支援する仕組みづくりの構築が求められた。また、教員養成修士レベル化、レベル化に向けた修士レベルの質と量の充実、教育委員会と大学との連携・協働による教員養成・現職研修のプログラム化・単位化、教育振興基本計画への盛り込みなどが盛り込まれている。

この点、アメリカでは歴史的にも上記の内容について先進的な立場にある。教員養成の高度化として学部と大学院が一貫した修士プログラム、教員免許更新制・上進制と現職研修（大学と教育委員会との連携）の対応に基づく上級免許状取得によって教職キャリアにおける専門性を高める職能成長（professional growth）が意図されている。しかも、免許状更新・上進の際、多種多様な現職研修が提供されているのも特色である。

また大学学部段階で教職課程を履修せず、その後社会で就職などをした後、教職を志望する者へのオルタナティブな教員資格認定プログラムも全州的に存在する。

上記の具体的状況について探ることは日本の当面の改善方策である教育委員会・学校と大学の連携・協働による高度化に示唆を与えることになるだろう。

そこで本大会公開シンポジウムでは、登壇者としてまず、今回の中教審特別部会報告において文部科学省側において企画エキスパートとしての役割を果たしておられる、日向信和氏に発表していただく。

続いて、アメリカ教員養成高度化における大学院プログラム、特に学部・大学院一貫プログラムの研究を行っている鞍馬裕美会員、またアメリカ教員免許資格構造の特質である教員免許更新・上進制と現職研修の対応策について歴史的・今日的視点から州間同一性・異質性を研究している八尾坂会員に、それぞれ日本への示唆への発表を念頭に置き登壇していただく。

最後に、アメリカのオルタナティブな教員資格認定プログラム（alternative certification program）の特質について研究しておられる小野瀬善行会員から多様な人材の登用との関わりから発表をお願いしている。

（文責：八尾坂修）

● 公開シンポジウム：会場102教室 ●

・ 14：00～14：05 開会挨拶

・ 14：05～14：45 基調講演

日本の教員養成・免許制度改革の方向

日向 信和 （文部科学省 教員免許企画室長）

・ 14：45～15：05 研究報告 1

アメリカ教員養成の高度化—修士プログラムからの示唆

鞍馬 裕美 （明治学院大学）

・ 15：05～15：25 研究報告 2

アメリカ教員免許資格構造—更新・上進制からの示唆

八尾坂 修 （九州大学）

・ 15：25～15：45 研究報告 3

アメリカのオルタナティブ教員資格認定からの示唆

小野瀬 善行（釧路公立大学）

・ 15：45～15：55 休憩

・ 15：55～16：45 質疑応答



司会：加藤 幸次（上智大学名誉教授、本学会代表理事）
大竹 晋吾（福岡教育大学）

アメリカ合衆国教員免許制度の研究

八尾坂 修著 13650円

アメリカ教員免許制度の基盤をなす免許資格構造要因に視点をあて、その成立と展開・発展過程、さらには現状と改革の方向について、実証的に論及したものである。

アメリカにおける教育官僚制の発展と克服に関する研究

松原 信継著 9975円

米国の教育官僚制の発展要因を歴史的・制度的に解明するとともに、市民と官僚制組織の関係をつくり直す「社会運動」としてのADRの性格に光をあてた大著。

日米のテスト戦略 —ハイスティクス・テスト導入の経緯と実態—

北野 秋男著 2100円

「全国学力テスト」の本当のねらいは何か？ 子ども、教師、学校を追い込む競争主義的、結果主義的な教育を見直し、日米のテスト政策導入の経緯と実態を比較検証。

現代アメリカ社会科の展開と構造 —社会認識教育論から文化認識教育論へ—

田中 伸著 9975円

1960年代以降のアメリカ社会科教育の論理的構造転換を、学問・教育・社会の変化という背景的要因、並びに具体的な学習の変化という実体的分析に基づいて解明する。

現代アメリカ初等法関連教育授業構成論研究

二階堂年恵著 7350円

現代アメリカで展開されている初等法関連教育の授業を社会科教育学の観点から類型化し、各授業構成の論理と法的資質を育成する意義と特質を明らかにした著書。

米国教師教育制度史研究

村山 英雄著 11550円

米国の初等教員養成に不滅の足跡を残したニュー・ヨーク州立オーバニ師範学校の成立・発展過程を詳細に検討、今日の米国教員養成の特色を歴史・政策的側面から考察。

現代米国の教員団体と教育労働法制改革

高橋 哲著 8400円

労働法をモデルとして形成された米国の教員法制。そこで展開された教員団体の運動を手がかりに、教師の労働基本権と専門職性をめぐる問題を検討する。

現代アメリカ初等歴史学習論研究 —客観主義から構築主義への変革—

田口 紘子著 6825円

授業記録における子どもの学びを通して、現代アメリカにおける初等歴史教育改革の方向と展望を、構築主義歴史学習論を抽出することにより解明した新著。

開かれた科学的社会認識形成をめざす歴史教育内容編成論の研究

山田 秀和著 8925円

アメリカで開発された革新的な歴史カリキュラムを分析し、「開かれた科学的社会認識形成」をめざす歴史教育内容編成の理論と方法を体系的に究明する。

アメリカ地理教育成立史研究 —モースとグッドリッチ—

田部 俊充著 4200円

アメリカ建国期の地理教育の成立過程を解明。当時のアメリカ人の世界像を示した「アメリカ地理学の父」モースや「パーレー万国史」のグッドリッチの地理教科書に注目した研究。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

Lesson Study in Japan

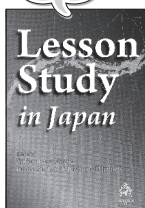
Part I History of Lesson Study and Teacher Education

What is Lesson Study? /Origin of Lesson Study and Post-war Education /Development of Study Movement /Nongovernment Site of Lesson Study/ Contemporary Situation of Lesson Study/ Teacher Education in University /Lesson Study as In-service Teacher Education /Lesson Study in University

Part II Methods and Styles of Lesson Study

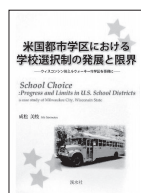
Structure of Lesson and Lesson Study in Japan / Curriculum Studies and Lesson Study in Japan / Teaching Materials and Textbook/ Improve-ment of Subject Teaching through Lesson Study /Classroom Management and Lesson Study / Educational Assessment and Lesson Study / Lesson Study as a Core Activity of a School-based Action Research / Pilot Study School and Lesson Study / Lesson Study and Innovation of Educational Media/ Lesson Study for Special Needs Education/ Study on Early Childhood Education and Care and Lesson Study / Lesson Study Perspective

好評発売中

日本教育方法学会編
(本文欧文) 7,140円米国都市学区における
学校選択制の発展と限界

—ウィスコンシン州ミルウォーキー市学区を事例に—

成松美枝著 米国で進められてきた教育改革「学校選択制」について、実証的な調査・分析に基づき検討。公立学校の改革において同制度が果たす役割と機能を明らかにする。【学術振興会助成】 3,990円



アメリカ合衆国におけるインクルージョンの支援システムと教育的対応

吉利宗久 障害児教育におけるインクルージョンに取り組む米国各州の法制と、特に通常学級における支援システムの特徴と実態を究明。障害のある子とない子の共同教育の実情と将来像に迫る。【学術振興会助成】 6,090円



アメリカ教育行政学

中谷彰著 1920～30年代のアメリカ教育行政に新風を吹き込んだニューロンとカウツの理論を分析、その特質と影響を検証し、その位置づけを行う。2,940円

QUALITATIVE RESEARCH WITH TAE STEPS

THINKING AT THE EDGE : Theory and Applications

得丸さと子著 (本文欧文) This advocates effectiveness of applying TAE. 2,940円

ドイツにおける通信簿の歴史

ト部匡司著 ドイツ社会および教育制度の機能的分化とともに発達してきたと想定される通信簿の歴史的展開を体系的に明らかにし、ルーマンのシステム論を手がかりとして理論的に分析する。3,780円

近世日本における「学び」の時間と空間

幕末維新期学校研究会 (高木靖文編著) 日本近世の生涯学習システムの成立と発展を多角的に考察。近代化への転換期の特徴的な世界観、人生観、学習観を実証的・全体論的に究明する。5,985円

キャリア教育推進のための研修マネジメント

朝倉淳・新谷士朗・中瀬古哲編 キャリア教育推進という視点に基づく取り組みを一つの事例として、学校における校内研修のマネジメントサイクルをどのように構築し機能させていくかを提案する。1,575円

全米ヒットセラーの日本語翻訳版

「どうしたらいいの？」
がよく分かる！

「難しい親」への対応

—保護者とのより良い関係の築き方—

スザンヌ・カベック・ティングリー 著／栗原 慎二・バーンズ亀山静子 監訳
教師が「難しい親」と付き合うための実用的なアドバイス満載。保護者対応のヒントを与えてくれる1冊。1,890円

溪水社

広島県広島市中区小町1-4 (〒730-0041) 【表示価格税込】
TEL (082) 246-7909/FAX (082) 246-7876 e-mail: info@keisui.co.jp書籍の詳しい情報はホームページで
<http://www.keisui.co.jp>

月刊「教育展望」

A 5判・64頁・448円＋税
毎月1日発行

2012年 特集

10月号 情報化社会における情報教育

9月号 大震災に学ぶ防災教育の見直し

7・8月合併号 教育における評価の現状と課題

6月号 ゆれ動く教育の問題点をさぐる

5月号 学校種間の一貫・連携で相互に望むこと

4月号 新学習指導要領実施から見えてきたこと

「教育展望」臨時増刊

教育展望セミナー研究討議資料 A 5判・2381円＋税

No 44(第41回セミナー) 2012年7月発行・120頁

岐路に立つ教育の未来を考える

No 43(第40回セミナー) 2011年7月発行・124頁

新しい教育課程を実現する学校力・授業力

研究紀要

B 5判

第92号 防災教育の現状と今後の取り組み

2012年5月発行・96頁・952円＋税

第91号 ミドルリーダーとしての主幹の職責と育成

2011年6月発行・96頁・952円＋税

第90号 校内研究の実態と充実のための方策

2010年5月発行・96頁・952円＋税

財団法人 教育調査研究所〔理事長 新井郁男〕 E-mail: chouken@estate.ocn.ne.jp
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 TEL: 03-3238-6974 FAX: 03-3238-6975

九大百年



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011
知の新世紀を拓く

九州大学は2011年に百周年を迎えました

アメリカ教育学会 第24回大会プログラム

2012年8月31日発行

発行者 アメリカ教育学会 第24回大会準備委員会

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目19-1

九州大学 教育学部門

委員長 八尾坂 修（九州大学）

大会準備委員

梶 原 健 二（九州大学大学院・院生）	畑 中 大 路（九州大学大学院・院生）
金 子 研 太（九州大学大学院・院生）	波多江 俊 介（九州大学大学院・院生）
大 竹 晋 吾（福岡教育大学）	倉 本 哲 男（佐賀大学）
千々布 敏 弥（国立教育政策研究所）	片 山 紀 子（国士舘大学）
島 田 和 幸（四天王寺大学）	

印刷

城島印刷株式会社

〒812-0012 福岡市中央区白金2-9-6

TEL 092-531-7102

FAX 092-524-4411
